

製品名: HNF4- α (リン酸化 Ser313) ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab04786**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	52kDa

抗原情報

遺伝子名	HNF4A HNF4A; HNF4; NR2A1; TCF14; Hepatocyte nuclear factor 4-alpha; HNF-4-alpha; Nuclear receptor subfamily 2 group A member 1; Transcription factor 14; TCF-14; Transcription factor
別名	HNF-4
遺伝子 ID	3172.0
SwissProt ID	P41235
免疫原	抗血清は、ヒト HNF4 α の Ser313 リン酸化部位付近の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 280-329

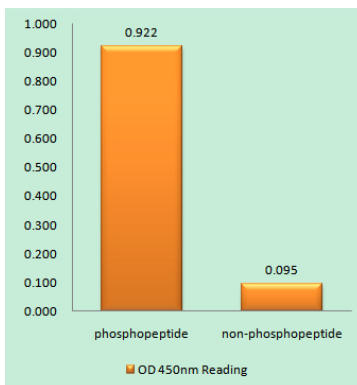
背景

この遺伝子によってコードされるタンパク質は、ホモ二量体として DNA に結合する核転写因子です。コードされるタンパク質は、いくつかの遺伝子の発現を制御しますが、その中には、いくつかの肝臓遺伝子の発現を制御する転写因子である肝細胞核因子1 α も含まれます。この遺伝子は、肝臓、腎臓、腸の発達に関与している可能性があります。この遺伝子の変異は、一遺伝子性の常染色体優性遺伝のインスリン非依存性糖尿病 1 型と関連付けられています。この遺伝子の選択的スプライシングにより、複数の異なるアイソフォームをコードする複数の転写バリエーションが生成されます。[RefSeq 提供、2012 年 4 月]、代替製品:追加のアイソフォームが存在するようです、疾患:HNF4A の欠陥が、若年性 1 型糖尿病 (MODY1) [MIM:125850] の原因です。MODY-1 とも略されます。MODY [MIM:606391] は、常染色体優性遺伝形式をとる糖尿病の一種で、小児期または成人初期 (通常 25 歳未満) に発症し、インスリン分泌の一次性欠損を特徴とします。MODY1 の臨床表現型は、重度のインスリン分泌欠損と、微小血管合併症を伴う重度の高血糖を特徴とします。機能:転写制御転写因子。 α 1-アンチトリプシン、アポリポタンパク質 CIII、トランスサイレチン遺伝子、および HNF1- α の転写に必要な DNA 部位に結合します。肝臓、腎臓、腸の発達に必須である可能性があります。、その他:脂肪酸に結合します。、オンライン情報:肝細胞核因子エントリ,PTM:チロシン残基がリン酸化されています。リン酸化は DNA 結合活性に重要です。リン酸化は、直接的または間接的に核内分布の調節的役割を果たす可能性がある。、類似性:核ホルモン受容体ファミリーに属する。、類似性:核ホルモン受容体ファミリーに属する。NR2 サブファミリー。、類似性:1 つの核受容体 DNA 結合ドメインを含む。、サブユニット:HNF4- α が認識部位に結合するには、ホモ二量体化が必要である。、

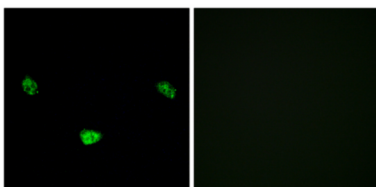
研究分野

幹細胞経路; AMPK; タンパク質アセチル化

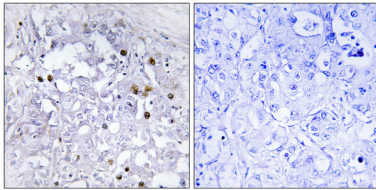
画像データ



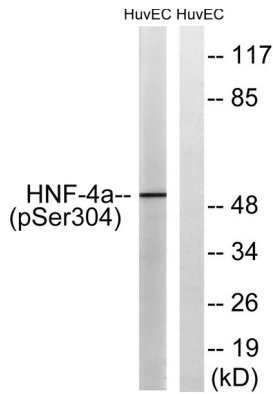
HNF4 alpha (リン酸化 Ser313) 抗体を用いたリン酸化ペプチド (リン酸化左) および非リン酸化ペプチド (リン酸化右) 免疫原の酵素結合免疫吸着測定 (リン酸化 ELISA)



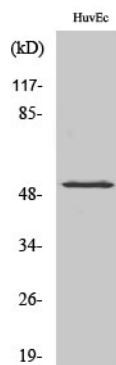
HNF4 α (リン酸化 Ser313) 抗体を用いた LOVO 細胞の免疫蛍光染色。右の写真はリン酸化ペプチドでブロッキングした状態。



HNF4α (リン酸化 Ser313) 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト肝癌の免疫組織化学染色。右の写真はリン酸化ペプチドでブロッキングした状態。



HNF4α (リン酸化 Ser313) 抗体を用いた、EGF 200ng/ml 30%処理した HUVEC 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンはリン酸化ペプチドでブロッキングされている。



リン酸化 HNF4-α (S313) ポリクローナル抗体を 1: 1000 に希釈して各種細胞をウェスタンブロット解析した。